

パンデミックの予防、備え及び対応（PPR）に関するWHOの新たな法的文書 （いわゆる「パンデミック条約」）作成のための第13回政府間交渉会議（INB13）結果概要 （2025年2月17日～21日、於：ジュネーブ）

令和7年（2025年）2月25日
外務省国際保健戦略官室

1 会議の概要

※PPR: prevention, preparedness and response
※INB: Intergovernmental negotiating body

- 合意が得られていない条文について集中的に議論し、一部についてはテキストのコンセンサスに至った。
- 論点によっては、各国間の隔たりが残るものもある。引き続き議論を重ね、交渉妥結を目指す意図が確認された。
- 今次会合は、米国が交渉からの離脱を表明後、初の会合。米国は出席せず。テドロス事務局長は、開会セッション冒頭発言で、米国の離脱通告を遺憾に思うとともに再考を望む旨述べた。

2 日本の基本方針

- パンデミックの予防、備え及び対応（PPR）の強化のため、国際的な規範の強化は重要。
 - 交渉を通じて、本条約の内容をPPRの強化にとって真に意味のあるものとし、かつ、主要国を含む多くの国が合意できる普遍性を確保することが重要。
- 上記観点から、国際的な感染症対策の強化のため引き続き建設的に参加・貢献していく。

3 今後の予定

- 2025年4月7日～11日 INB13再開会合
- 2025年5月の第78回WHO総会に成果物を提出。